

授業科目 食生活論

【担当教員名】 村山篤子		対象学年	1	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
<概要> 人間の食生活に関する生態、文化、歴史、食品、栄養の知識、消費経済などについて総合的に学習する。					
<学習目標> 人間が食べるという行動の意義を理解し、自立した生活者として望ましい食生活はどうあるべきか正しい食事計画の立案・評価についても考える。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	食生活の変遷	食料採集の時代：岩宿時代、縄文時代 食料生産の時代：弥生・古墳時代、飛鳥・奈良・平安時代		講義 グループ討議	
2		日本の食の特色			
3	食文化と食生活	世界の食事文化、食と宗教 年中行事と食物、食事様式			
4	食生活の環境	世界の食料生産、人口と日本、アジアの食料需給動向			
5		食生活に与える経済社会環境の変化			
6	食生活と健康	日本人の健康状態—高齢社会と疾病構造の変化 食生活の移り変わり—戦前・戦中・戦後・現在 健康増進対策とその具体化			
7	食生活と食物 望ましい食生活 づくり	献立作成、供食、食卓構成、食事環境 食生活の担い手 食の専門家：栄養士と管理栄養士、調理師、専門調理師、 調理技能士、フードスペシャリスト、フードコーディネーター			
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		生活科学双書 改訂 食生活論	川端晶子他5名	建帛社	平成12年
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 レポート 期末テスト		【履修上の留意点】 雑誌、新聞などで特に興味深い食関連の記事を収集する。			